

< 沖縄県立コザ高等学校 >

芸術科 書道 I 授業シラバス

教科	科目名	単位数	学年	学級
芸術科	書道	2	1 学年	1～10

1 学習目標

学習の到達目標	書道を楽しむ態度をとおして感性を豊かにし、さまざまな場面に対応する書写能力を高め、表現と鑑賞の基礎的な能力をのばしていく。		
使用教科書・副読本等	東京書籍 「書道 I」	学習形態	2 クラス 3 展開

2 学習計画

<評価の観点> 1 関心・意欲・態度 2 話す・聞く能力 3 書く能力 4 読む能力 5 知識・理解

学期	月	学習内容	学習のねらい	考査等
1 学期	4	書道の学習を始めよう	執筆法・用筆法や用具・用材について知り、書道の学習における基本的な事項を理解します。	前期中間考査
	5	漢字仮名交じりの書の学習 (一)	身近な言葉や詩文を題材に、漢字と仮名の調和を図り、用具・用材や字形・文字の大きさ等の全体構成を工夫して、自分の意図に基づく表現の方法を学びます。	
	6	漢字の書 楷書の学習	漢字の楷書の古典に基づく学習により、書の多様な表現の可能性にふれます。代表的な楷書古典を鑑賞し、それぞれの古典について、作者や時代背景などの知的理解をします。	前期期末考査
	7		基本的な点画や線質の表し方と、用筆・運筆の関係を、臨書学習により習得します。これらの活動を総合し、各古典の特徴を把握し表現する方法を学びます。	
2 学期	9	行書学習	行書の特徴について理解します。代表的な行書の古典を鑑賞し、作者や時代背景等に関する知的理解を経て、臨書学習により各古典の特徴を把握することにより行書の基本的な用筆法を習得します。	10 月実力考査
	10	楷書・行書による創作	学習した楷書または行書の古典を題材とし、習得した技法を生かして創作を行います。姓名印を刻し創作作品に押印します。	
	11	仮名の書の学習	わが国独自の文字である仮名について、成立過程と字源について理解します。平仮名を中心とした仮名の筆使いに慣れ、基本的な用筆法を習得します。	後期中間考査
12		平仮名、変体仮名の字源を理解し、それぞれの文字が持つもつ本来の字形に配慮しながら仮名の基本的な用筆法を習得します。連綿の分類について理解し、連綿の用筆法を習得します。		
3 学期	1		仮名の古典の学習により、各古典の特徴を把握し、用筆法を習得します。代表的な楷書古典を鑑賞し、それぞれの古典について、作者や時代背景などの知的理解をします。連綿や線質の表し方と、用筆・運筆の関係を、臨書学習により習得します。	1 月実力考査
	2	漢字仮名交じりの書の学習	これまでに学習した漢字及び仮名の古典の学習をもとに、その表現応用した漢字仮名交じりの書の創作を行います	学年末考査
	3		詩文、形式、用具、用材、構成などを工夫し、漢字と仮名の調和の方法を考え、自分の感性をどのように表現していくかについて考えます。	

【年間の評価】

- ・平常点（授業への取り組み・出席・授業態度・課題の提出状況等）を 5 割とする。
- ・作品提出物の素点を 4 割とする。
- ・プリントの素点を 1 割とする。

学習アドバイス

- ・書道の学習においては良く見ることが大切。自らの感受性に基ざり対象となる作品や古典の美について直観的な把握を試みたい。
- ・技法の習得は主として古典の臨書によるが、一枚一枚、一字一字に自分の解決すべき課題や問題を見極めながら練習する習慣を身につけたい。
- ・創作においては「自分は何を表現したいか」を大切に、詩分や用具などを積極的に選択していきたい。